

令和元年度 第2回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和元年10月10日(木)
午後3時から午後4時30分
場 所 市民総合福祉会館第1談話室

出席委員 齊藤毅人委員、花園隆委員、平田辰雄委員、清水寛委員、鈴木義信委員、
齋藤和利委員、長谷川宏美委員、櫻井隆雄委員、田所公司(飯箸委員代理)

1 開会

2 まなび支援センター所長挨拶

3 協議

- ① 令和元年度まなび支援センター青少年指導関係活動中間報告
- ② 管内の青少年の現状について
- ③ 情報・意見交換
- ④ その他

【事務局から説明】

ただ今から、令和元年度第2回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員14名のうち、出席者8名、欠席者6名、過半数の出席がございますので、会議が成立しております。なお、本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。また、本協議会の会議録は木更津市のホームページ上で公開されます。会議中、録音機により会議を録音しておりますので、ご承知おきください。

それでは、協議に入ります前に、木更津市まなび支援センター所長の岡崎よりご挨拶申し上げます。

岡崎所長あいさつ

〈事務局〉

それでは、これから協議に入りますが、本日、吉田会長が欠席されておりますので、木更津市まなび支援センター管理規則第3条第4項の規定によりまして、齋藤副会長に議長をお任せいたします。

齋藤副会長どうぞよろしく申し上げます。

〈齋藤副会長〉

それでは、協議に移りたいと思います。協議事項①といたしまして、令和元年度まなび支援センター青少年指導関係活動中間報告を事務局から説明願います。

〈岡崎所長〉

令和元年度まなび支援センター青少年指導関係事業の中間報告

〈齋藤副会長〉

それでは、只今の中間報告に対しまして、それぞれ委員の皆様のお立場からのご意見がございましたらお願いいたします。

ご意見等ないようですので、続きまして、管内の青少年の現状についてお話しいただければと思います。

〈齊藤委員〉

生徒の状況ですが、各小中学校とも比較的落ち着いていて、昔のような非行行動は学校のなかではほとんどみられなくなっています。今日は虐待に関わる案件が多くあり、児童相談所や子育て支援課、警察とも連携をしながら対応しておりますが、連携の大切さを感じているところです。台風の件に関しましては、木更津市内の中学校は体育祭の振替休業ということもあり、火曜日から木曜日までの3日間、小学校は月曜日から木曜日までの4日間休校いたしました。金曜日は、給食の配食ができないということもあり、午前中の授業のみで下校という状況でした。金曜日に登校した生徒達は、久々に友達と会えて少し高揚しているような雰囲気でしたが、子ども達の声聞くことができ本当によかったと思いました。

〈花園委員〉

一般的に高校生も比較的落ち着いています。ただ、SNSの関係は気になるころではあります。台風の関係では大きな被害を受けた子は多くはないのですが、鴨川や清和などは、長い間電気がつながらないということもあり、大変な子もいました。9日から11日は休校で、木曜日からは、電気のつながっていないところがあるとお弁当の用意もできないだろうということで、全日制は午前中で終わりにしました。また、久留里線の運休により久留里線を利用する子達を早く帰すといった影響がしばらくありました。

〈平田委員〉

電柱が倒れたとか倒木があったとか瓦が飛んだとかの被害がありましたが、真舟小学校は停電しなかったため、いつものように交通誘導をしました。子ども達が元気に登校している様子を見ることができ、ほっとしました。

〈田所代理〉

9月2日付けで木更津警察署の生活安全課長に着任いたしました田所と申します。館山警察署で生活安全課長をしておりました。どうぞよろしく願います。管内9月末現在の青少年の状況ですが、青少年が事件の加害者として扱われている人数が本年9月末現在で21名。昨年同期比8人減となっております。少年補導の件数ですが、9月末現在

で170件。前年同期比80件以上減っているという状況です。青少年の犯罪、あるいは不良行為というのは昨年に比べると落ち着いてきている状況ですが、高校生の件数が半減している一方で、中学生の件数が増加しています。さらに、小学生についても、昨年に比べて若干補導件数が増加しているという傾向です。補導内容として多いのが、深夜徘徊、喫煙等が上位を占めています。これは今に限った話ではありませんが、少年を取り巻く情勢としていわれているのが、犯罪や不良行為の低年齢化が全国的に問題となってきました。要因の一つとして挙げられるのがSNSです。サイバー空間を利用した犯罪や、ネットいじめ等が背景にうかがえます。木更津市ではこうした青少年に対するSNSの指導を非常に積極的に取り組まれていると伺っております。ご要請いただければ「サイバー犯罪対策教室」を開かせていただきますので、是非、生活安全課までお問い合わせいただければと思います。

〈清水委員〉

家庭裁判所の方でも少年事件として処理されている件数は減っているという印象です。最近目立ってきていると思うことは、直接それがきっかけというわけではないですが、家庭の貧困問題が背景にあって、子どもに目を向ける余裕がなくなり、結果的に非行につながっていくというケースがあります。

〈鈴木義信委員〉

月2回木更津駅と袖ヶ浦駅の周辺を19時から約1時間の定期補導を中心に活動していますが、特段、問題はございません。台風の関係ですが、色々と報道されているとおり大きな台風ということですので、万全の備えが必要だと思います。

〈長谷川委員〉

台風の影響で全体の会議が流れたりしましたが、小櫃関公園でのウォークラリーでは、子ども達が楽しみにしていたこともあり、安全に配慮しつつ実施いたしました。

〈櫻井委員〉

研究集会を毎年富来田公民館で開催していますが、台風の影響もあり、今年は君津教育会館での開催となりました。今回の台風で子ども達は、停電だとWi-Fiが使えないからつまらないといったような不満があったようですが、四六時中携帯端末を離さない子ども達にとって、携帯端末から離れることができたのは、よい機会になったのではないかと思います。復旧が遅れたりした家庭の子ども達は、電気が通じているご家庭に行き入浴させてもらったり、暑い時はそちらに泊まらせてもらったりして、交互の地元のおつきあいができたようですので、そういった部分ではよかったと思っています。

〈齋藤副会長〉

皆様から貴重なご意見をいただきました。今回の停電を経験された方、されていない方と二分化しておりますが、一時的に、電話やスマートフォンが全く通じない状況がありました。公民館では、携帯電話の充電コーナーがあり、子ども達もそこでスマートフォンの充電をしたりしていました。今回、また、台風19号ということで、停電になった時のた

めの発電機等々、事前対策をしっかりしないといけない。公民館と一緒に事前準備をすることが必要だと思います。子ども達はスマートフォンや家庭内のインターネットも全く使えない状況下で、ろうそくや懐中電灯、キャンプ用のランタン等を使って、親子の会話が深まったところもあったのではないのでしょうか。普段と違う環境下で、よい意味で勉強になったのではないかと思います。木P連の研修会のなかでも、子どもとの触れ合いが一番大事で、愛情度というバロメーターが子どものつき合い方によって変わってくる。子どもと接触して親子関係をよい意味でつないでいくことが犯罪抑止につながっていくということで、子どもとよい関係を待たなければいけないという講演をいただきました。家庭のなかでは、子どもと親との時間的な差があって、どうしても一緒にいられなかったりして、親子の会話がなかなかとりにくいというか、絆が薄くなってしまおうというのが現実だと思います。そのようななか、木更津市内にも子ども食堂など、いろいろな形で子どもと大人をつなぐ、また、子ども同士もうまくつなぐ活動を行っているところがありますので、徐々に孤立した子はなくなりつつあるのではないかと思います。ただ、実際にそこへ行っている子ども達というのは、本当に困っている子というよりも、普通の子が行っているというところもあるようです。それはそれでよいと思いますが、本当に困っている子ども達も徐々に増えていけばよいと思っています。今回の台風被害でのボランティア活動をみることで、子ども達もいろいろなかたちで勉強することがあったと思います。マイナスのなかからプラスのものがいくつか拾えたのではないかと思います。子ども達は普段から家のなかにおいてスマートフォンでやり取りすることが多いと思いますが、スマートフォンを下手に取り上げることはよくないといわれています。使い方次第でというところがありますので、お子さんとの愛情のバロメーターからすると単純に取り上げるだけではなく、それなりの話をして引き離してくださいということです。

なにか他にご意見等ございましたらいかがでしょうか。

〈田所委員〉

前回の台風もそうですし、過去、いろいろな災害があるとそれについてくるのが犯罪です。屋根のリフォーム業者を装って、法外な値段を突きつけて金銭を取る悪徳業者などがそれです。今回の台風の後も、そういったことが予想されます。木更津・袖ヶ浦両市のご協力や各種メディアで広報していただいておりますが、皆様もそうですし、皆様のお近くの方にもお声がけしていただけると警察としても助かります。青少年問題とは全く違うところではありますが、よろしく願います。

〈齋藤副会長〉

パトロール中に気をつけてみたいと思います。

〈岡崎所長〉

中学生・高校生のSNSの使用状況はいかがですか。

〈花園委員〉

ツイッターかインスタグラムが大半です。ただ、定時制に限っていいますと、学校が休

校になる情報等は基本的にホームページに掲載していますが、停電になりますとホームページを修正することができないので、ツイッターで情報を流せるようにしてあります。必ずしもSNS、ツイッターがいけないというわけではありませんので、使い方次第という話なのだと思います。

〈齋藤副会長〉

いつでもどこでもどこからでも世界中につながってしまうという便利なものですし、また、世界中のいろんな情報を常にみることができる一方、情報源として本当に正確な情報なのか見極めるための能力も子ども達に教育していかないといけない。我々大人もそうだと思いますが、子ども達は使いながら覚えていっていると思います。ただ、最終的な判断ができないまま使っている。

〈櫻井委員〉

コミュニケーションをどうやって上手にとるか。大人の方から子ども達に歩み寄ることが非常に大切です。是非、子ども達と同じ目線で考えてあげてください、という講演をいただいたことがあります。自分達が子どもの時代にはなかった環境ですから理解ができない部分もあるかと思いますが、なるべく子ども達に近づいていきたいと思っています。

〈齋藤副会長〉

子ども達に歩み寄ることで会話が生まれる。もっと歩み寄って一緒にゲームもやるべきですという講演会でした。なるほどと思いました。

ほかに何かございますか。

それでは時間が参りましたので、本日は以上で協議を終了いたします。

〈事務局〉

貴重なご意見いただきましてありがとうございました。委員の皆様のご意見を参考にしながら、まなび支援センターの事業を進めてまいりたいと思います。

なお、吉田会長が本日欠席をされておりますが、教育委員を退かれたということで、改めて教育委員会から吉田会長に代わる委員をご推薦いただくということでございます。つきましては、次回の第3回の協議会のなかで会長の改選について協議していただくこととなりますので、よろしく願いいたします。第3回の協議会ですが、昨今、薬物が問題になっていきますので、横浜税関さんによる薬物関係の講演を考えております。日程につきましては2月20日の木曜日15時から、場所はこの市民総合福祉会館3階の講習室を予定しております。どうぞよろしく願いいたします。

以上を持ちまして本日の会を閉じたいと思います。ご協力ありがとうございました。